

小平市立花小金井小学校 避難所運営マニュアル (新型コロナウイルス感染症対策編)

小平市立花小金井小学校避難所開設準備委員会
(令和6年3月作成)

目次

第1章 避難所管理運営マニュアル（新型コロナウイルス感染症対策編）作成の目的	1
1 避難所管理運営マニュアル（新型コロナウイルス感染症対策編）作成の目的	1
2 新たに追加となる業務・様式等	1
3 必要な連絡先	1
第2章 避難者の受入れの基本的な考え方	2
花小金井小学校避難所収容人数予定	2
第3章 避難所運営の方法	3
1 避難所運営の大きな流れ	3
2 避難所開設前	4
(1) 感染症対策に必要な物資の市への要望	4
(2) 避難所レイアウトの準備	4
(3) 避難住民向け案内表示の準備	5
(4) 避難所運営訓練の実施	5
3 避難所開設時	5
(1) 設営	5
(2) 避難者の受入れ	6
① 避難所へ避難する場合の周知事項 ② 検温・チェックシート・受付	6
(3) ボランティアの受入れ	8
4 避難所運営時	9
(1) 避難者の健康確認	9
(2) 避難者の健康管理	9
①衛生管理 ②3つの密回避 ③ 換気の徹底	9
④ 食事の提供、食事時間等の管理 ⑤生活区域の清掃・消毒 ⑥入所後のケア	10
(3) 在宅避難者等への支援	10
5 避難所閉設時	10
(1) 収束後の現状回復	10
(2) 避難者情報の記録の整理	11
様式 避難者カード	13
避難者名簿	14
【受付時用】健康確認チェックシート	15、16
【ボランティア用】健康確認チェックシート	17
ボランティア活動者名簿	18
掲示物 感染を広げないための避難所のルール	20
専用スペースで生活されている方へのお願い	21
感染対策へのご協力をお願いします	22
手洗いへのご協力をお願いします	23
咳エチケットへのご協力をお願いします	24
避難所でのごみの捨て方について	25

第1章 避難所管理運営マニュアル（新型コロナウイルス感染症対策編）作成の目的

1. 避難所管理運営マニュアル（新型コロナウイルス感染症対策編）作成の目的

花小金井小学校避難所開設準備委員会では、花小金井小学校が避難所となった場合に備え、避難所管理運営マニュアルを作成し、マニュアルに基づいた訓練を実施し、関係者の業務の習熟を図ってきた。今般の新型コロナウイルス感染症の現下の現状を踏まえ、災害が発生し、避難所を開設する場合には、従来の対策以上に感染症対策に万全を期することが重要となるため、現行の避難所管理運営マニュアルに加え、本編を作成することとする。

用語の定義

【自宅療養者】自宅療養を行っている新型コロナウイルス感染症の軽症者、無症状者

【濃厚接触者】新型コロナウイルス感染症の患者の濃厚接触者

【専用スペース】自宅療養者、濃厚接触者、発熱等有症状者が避難する専用の避難所スペース

【一般用避難スペース】自宅療養者、濃厚接触者、発熱等有症状者以外の健康な人が使用する避難所スペース

2. 新たに追加となる業務

<業務>

(1) 避難所開設準備委員会等担当者の健康管理

(2) 総合受付の設置【被災者管理班】

避難所に設置する受付のほかに総合受付を設置する。

・避難者の体温や健康確認の実施

・避難者の避難場所の振り分けの実施

(3) 濃厚接触者等の専用スペースの設置【総務班】

(4) 受付時に、避難者の居住区分を指定し、記録する。【被災者管理班】

・避難所で新型コロナウイルス感染症の感染者が発生した場合に備える。避難所を設営後、避難者を入室させる前に、各居住スペースに区画番号を付番し、居住場所配置図を作成する。

(5) 避難者の健康確認【救護支援班】

(6) ボランティアの健康確認【ボランティア班】

3. 必要な連絡先

東京都多摩小平保健所 0 4 2 - 4 5 0 - 3 1 1 1

小平市健康センター 0 4 2 - 3 4 1 - 1 2 1 1

小平市役所内 防災危機管理担当

防災担当・計画調整担当 0 4 2 - 3 4 6 - 9 5 1 9

公立昭和病院 0 4 2 - 4 6 1 - 0 0 5 2

第2章 避難者の受入れの基本的な考え方

災害時には、咳・発熱等の症状があり、感染症の疑いのある方の避難が想定される。

また、新型コロナウイルス感染症の患者の濃厚接触者で検査結果待ちや陰性で健康観察中の方の避難も想定される。

基本的には、新型コロナウイルス感染症の場合は、軽症者であっても原則として一般の避難所に滞在することは適当ではないが、在宅避難ができないなど、一時的に一般の避難所で受け入れざるを得ない場合も考えられる。

自宅療養者、濃厚接触者、咳・発熱等の症状があり感染の疑いのある方と、一般の避難者は分ける必要があり、一般の避難所で受け入れる場合は、専用のスペースの設定が必要である。

一般の避難所での避難者の受入れの基本的な考え方は下表のとおりである。

区分	基本的な対応
咳・発熱等の感染の疑いのある人	発熱等有症状者専用スペース(第2学室個室) で受け入れる。 健康観察を行い、緊急性の高い症状がある場合は、医療機関等に搬送するため、 災害対策本部へ連絡する。
濃厚接触者 (健康観察期中)	濃厚接触者専用スペース(第2学室) で受け入れる。 症状が出現し感染が疑われる場合には、 災害対策本部へ連絡する。
自宅療養者	自宅療養者待機スペース(くすのき教室) に待機させ、 災害対策本部へ連絡 し、ホテル等の宿泊療養施設への入所を調整してもらう。ただし、移動に危険が伴う場合や受入施設が確保できない場合は、自宅療養者待機スペースで健康観察する。
上記以外の一般避難者	一般用避難スペース(体育館・校庭) で受け入れる。ただし、 妊産婦(算数教室) や 障がい者(3年生教室) 、 高齢者(多目的室) 、 持病のある方(6年生教室) 等の配慮が必要な方は、福祉スペースを設けて受け入れる。校庭は テント泊 で使用。

*自宅療養者のホテル等への入所は、市から保健所経由で連絡を受けた都が調整を行う。

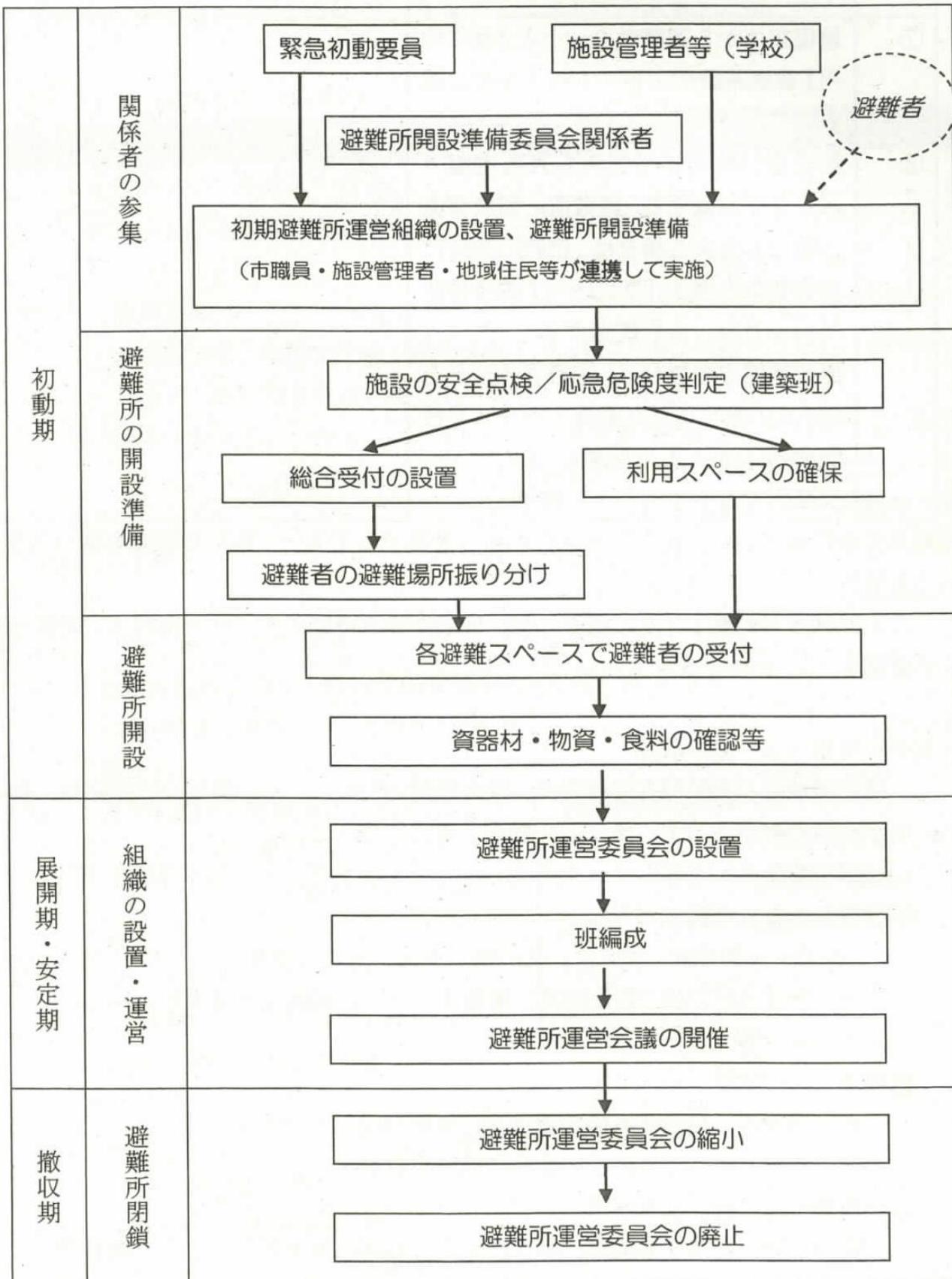
<花小金井小学校避難所収容人数予定>

一人当たり5.5㎡のスペース、通路幅を2m確保した場合

○体育館	485㎡	24名
○第2学室	110㎡	15名
○くすのき教室	56㎡	8名
○多目的室	125㎡	16名
○算数教室	61㎡	8名
○その他各学級用教室	61㎡	8名

第3章 避難所運営の方法

1. 避難所運営の大まかな流れ



2. 避難所開設前

通常の避難所開設準備に加え、感染対策に必要な準備や手順を以下のとおり実施します。

(1) 感染症対策に必要な物資の市への要望

＜予防・健康管理＞

サージカルマスク、間仕切り、非接触式体温計、養生テープ等

＜消毒＞

石鹼、ウエットティッシュ、ペーパータオル、アルコール消毒液等

＜スタッフ用個人防護具＞

サージカルマスク、ゴーグル、フェイスシールド、防護着、ゴム手袋（使い捨て）、スリッパ、長靴等

(2) 避難所レイアウトの準備

①初期避難所運営委員会メンバーの健康確認

- ・ 参集場所（職員用玄関）に集合後、検温を実施、体調に異常がないことを確認する。体調が悪い場合は、無理せず、人と離れた場所に待機する。
- ・ 作業実施前には、手指消毒やマスク、ビニール手袋を着用する等、各自で感染対策を実施する。

① 検温・問診場所・総合受付・各スペース受付の準備

避難所の外に検温・問診場所・総合受付を設定

＜検温＞ 新校舎東側 ＜問診場所＞ 新校舎プール前 ＜総合受付＞ 1階渡り廊下手前

＜一般用＞ 一般用避難スペース受付（体育館）、福祉スペース各受付

＜咳・発熱等で感染の疑いのある方＞ 発熱等有症状者専用スペース受付（第二学童入口右側）

＜濃厚接触者＞ 濃厚接触者専用スペース受付（第二学童入口左側）

＜自宅療養者＞ 自宅療養者待機スペース（中庭チョウエリア）

自宅療養者専用スペース受付（新校舎1階非常口外側）

③スペースの確保

＜一般用避難スペース＞

床に養生テープ等で、一人当たり5.5㎡以上のスペース、通路幅は2mを確保

*体育館では、男性・女性・家族スペースを分けするため床に色ごとの養生テープを貼る。

*各居住スペースに区画番号を付番する。

＜濃厚接触者専用スペース・発熱等有症状者専用スペース＞

- ・ 第2学童玄関を出入口とし、通常の避難所とは別にする。
- ・ 人数が少ない時には、使用者ごとに使用するトイレを決める。
- ・ 人数が多く1部屋に複数人収容する場合は、間仕切りで分離
 - *間仕切りは、パイプ椅子とダンボールを使用
- ・ 専用のごみ箱を設置 *蓋つきの物を使用

【濃厚接触者】

各保健所に連絡・相談し、その指示に従う。移動できない場合は避難所で一時的に第2学童に隔離

【咳・発熱等で感染の疑いがある者】

各保健所に連絡・相談し、その指示に従う。移動できない場合は避難所で一時的に本人の私有車もしくは第2学童個室に隔離 * 「避難所内での留意事項について」知らせる。

〈自宅療養者専用スペース〉

- ・くすのき教室
- ・1階新校舎のトイレを使用し、くすのき教室前非常口から出入りする。

(3) 避難住民向け案内表示の準備

「感染を広げないための避難所ルール」「感染症対策へのご協力お願いします（手洗い・咳エチケット編を含む）」「専用スペースで生活されている方へのお願い」「避難所でのごみの捨て方について」等の表示をあらかじめ設置する。

(4) 避難所運営訓練の実施

レイアウト作成・確認（隔離、避難者間の距離確保、設置場所等）する。

3. 避難所開設時

(1) 設営

あらかじめ作成したレイアウトに基づき設営する。

- ・中庭の第二学童前（渡り廊下手前）に総合受付を設置する。避難者が総合受付で滞留しないように待機戦を示す。また、避難者と受付担当者の距離は2mあける。
- ・マスクを常用できない方がいる場合は、より広く区分したスペース等を準備する。
- ・間仕切りは、濃厚接触者等専用スペースから優先的に使用する。
- ・濃厚接触者と発熱等有症状者のスペースは分ける。

設置にあたり準備するもの

〈総合受付〉

アルコール消毒液、マスク、使い捨て手袋、眼の防護具（フェイスシールド等）、体温計、机、筆記用具、避難者カード、【受付時用】健康確認チェックシート等

〈一般用・福祉避難スペース〉

アルコール消毒液、マスク、使い捨て手袋、眼の防護具（フェイスシールド等）、スリッパ、受付用机、筆記用具、避難者カード（未所持者配付用）、避難者用健康チェックシート、間仕切り、養生テープ、メジャー等

〈専用スペース〉

アルコール消毒液、マスク、使い捨て手袋、眼の防護具（フェイスシールド等）、防護着、スリッパ、机、筆記用具、避難者カード、避難者用健康チェックシート、間仕切り、養生テープ、メジャー等

(2) 避難者の受入れ

①避難所へ避難する場合の周知事項

〈避難所に持参するもの〉

災害用備蓄品（水・食料・医薬品等）、体温計、マスク（予備）、消毒液、ゴミ袋、スリッパ、衛生用品等 *マスクを着用

記入済みの避難者カード、【受付時用】健康確認チェックシート

*避難者カード、【受付時用】健康確認チェックシートは市ホームページに掲載

②検温・チェックシート・受付

〈総合受付業務に従事する方〉

- ・業務前に必ず検温し、体調に異常がないことを確認する。
- ・マスク、使い捨て手袋、目の防護具（フェイスシールド等）を着用する。
- ・非接触式の体温計がない場合は、検温ごとの体温計の消毒が必要。
- ・自宅療養者が避難してきた場合は、速やかに災害対策本部へ連絡する。
- ・濃厚接触者と発熱等有症状者の避難状況を把握し、専用スペースの不足が見込まれる場合は、速やかに総務部へ報告する。
- ・一般以外の専用スペースへ入る際は、必ずスリッパを使用する。また、使用したスリッパで他の専用スペース等に入らない。
- ・居住場所配置図（居住スペース区画番号に付番してある物）に避難者名を記入し管理する。
- ・避難者より回収した避難者カード等は厳重に保管する。
- ・人権を尊重した対応を行うことが重要。

[総合受付での手順]

番号	避難者の行動手順	総合受付担当が実施する内容
①	総合受付で手指消毒を行う。	
②	検温担当から検温結果を聞く。 【重要】 濃厚接触者、発熱や体調不良の自覚がある方、自宅療養者は、速やかに受付担当へ伝える。	設置した体温計により避難者の体温を計測し、計測結果を避難者へ伝える。マスクを着用していない避難者には、着用を促し、持っていない場合は、マスクを配布する。 濃厚接触者、発熱や体調不良を訴える避難者のみ、担当が健康チェックシートに必要事項を記入し、避難者へ健康チェックシートを渡し、事前に検討していた避難スペースへ行くよう指示をする。

③	検温担当から伝えられた体温等を【受付時用】健康確認チェックシートに記載する。	定期的に文房具等の消毒を実施すること。
④	【受付時用】健康確認チェックシートを受付担当に渡し、確認終了後、チェックシートを受け取り、指示された避難スペースへ行く	【受付時用】健康確認チェックシートの内容を確認し、必要事項を健康確認チェックシートに記載し、避難者へ返却のうえ、適切な避難スペースを指示する。
⑤	避難者カードを持っていない場合は、避難者カードを受け取る。(世帯に1枚)	
⑥	総合受付担当から伝えられた避難スペースに移動する。 避難所の開設準備が終了している場合は、避難所受付に避難者カードと【受付時用】健康確認チェックシートを提出する。 開設準備中の場合は、避難者カードを記入し、待機する。他人との距離を2メートル(最低でも1メートル)確保する。	
⑦	検温担当から避難者カードと【受付時用】健康確認チェックシートを受け取る。	
⑧	総合受付担当から伝えられた避難スペースに移動する。避難所の開設準備が終了している場合は、避難所受付に避難者カードと【受付時用】健康確認チェックシートを提出する。 開設準備中の場合は、避難者カードを記入し、指定された避難スペースで待機する。他人との距離を2メートル(最低でも1メートル)確保する。	

〈発熱等有症状者〉 発熱等有症状者専用スペース受付(第2学童入口右側)へ

〈濃厚接触者〉 濃厚接触者専用スペース受付(第2学童入口左側)へ

〈自宅療養者〉 自宅療養者待機スペース(中庭南側チョウエリア)へ案内し、災害対策本部へ連絡
→自宅療養者スペース受付(新校舎1階非常口前)へ

[専用スペース受付での手順]

総合受付と同じで、それ以外に準備するものとして防護服、スリッパ、パーテーション

番号	避難者の行動手順	受付担当が実施すること
①	受付で手指消毒を行う。	
②	受付に避難者カードと【受付時用】健康確認チェックシートを提出する。	総合受付で【受付時用】健康確認チェックシートに記載された受付区分と同じであるか確認する。同じであれば、「居住場所配置図」を参照し、区画を割り当て、配置図、避難者カード、【受付時用】健康確認チェックシート、避難者用健康チェックシートに居住区画番号を記載する。 その後、避難者用健康チェックシートを避難者へ渡し、滞在場所を指示する。 避難者カード、【受付時用】健康確認チェックシートは避難者名簿作成に使用するため、保管しておく。
③	避難者用健康チェックシートを受け取り、居住区画番号が記載されているか確認する。	
④	避難者用健康チェックシートに記載されている居住区画番号と同じ番号が記載されているスペースへ移動する。 室内に入る際は、持参したスリッパを使用すること。	スリッパを持参していない人がいた場合は、スリッパを配布すること。
⑤	受付担当に指示された正しい受付に移動する。	

(3) ボランティアの受入れ

総合受付内にボランティア受付窓口を設置する。

〈一般ボランティアの場合〉

- ・ボランティアの体温測定を実施する。
- ・【ボランティア用】健康確認チェックシートを配布し記入してもらう。
- ・発熱がある方や、体調不良の方が来た場合は、丁重にお断りする。
- ・ボランティアが持参したボランティア要請票及び【ボランティア用】健康確認チェックシートを受領し、ボランティア活動者名簿を作成する。

(避難所で新型コロナウイルス感染症が発生した場合に備え、活動場所や連絡先は必ず記録しておく。)

〈地域住民ボランティアの場合〉

- ・ボランティアの体温測定を実施する。
 - ・ボランティア受付・管理票及び【ボランティア用】健康確認チェックシートを配布し記入してもらう。
 - ・発熱がある方や、体調不良の方が来た場合は、丁重にお断りする。
 - ・ボランティア受付・管理票及び【ボランティア用】健康確認チェックシートを受領し、ボランティア活動者名簿を作成する。
- (避難所で新型コロナウイルス感染症が発生した場合に備え、活動場所や連絡先は必ず記録しておく。)

4 避難所運営時

新たな感染者の発生に備え、避難者の健康管理、施設の衛生管理を徹底する。

(1) 避難者の健康確認

体調確認

避難中も1日3回検温を行い、避難者健康チェックシートに記録をする。(テント泊等による避難者含む)

〈新型コロナウイルス感染症を発症した場合〉

できる限り個室を準備し、発症者を個室スペースに異動させ、災害対策本部に連絡し指示を待つ。また、必要に応じて同じ滞在スペースにいた避難者の健康確認を実施する。

〈体調不良者が発生した場合〉

- ・速やかに救護支援班に相談する。
- ・必要に応じて、専用スペースに移動させ、災害対策本部に連絡し指示を待つ。

(2) 避難者の健康管理

① 衛生管理

- ・石鹸での手洗い、消毒、咳エチケット、3つの密の回避を徹底する。
- ・洋式トイレで蓋がある場合は、蓋を閉めてから流す。(表示)トイレ後は石鹸でしっかりと手を洗う。
- ・ゴミ袋は2枚重ねで使用し、しっかりと口を閉じて、一般ごみと感染性の廃棄物を分けて捨てる。
(専用スペースのごみは、一般ごみとして扱う。) ゴミを取り扱った後は、石鹸でしっかりと手を洗う。 *ゴミ箱には蓋をつける。

② 3つの密回避

- ・避難者間の距離の確保(2m以上)、換気の徹底

③ 換気の徹底

- ・窓開け、扇風機の使用等による換気を定期的実施
 - * 常時、マスクを着用する。熱中症対策として人との距離が開いているときにはマスクを外しても良いが、会話は控える。

④ 食事の提供、食事時間等の管理

- ・調理者や避難者の衛生管理を徹底する。
 - *調理スタッフは、マスクに加えて使い捨て手袋の着用が必須である。
- ・配膳は、一人分ずつ小分けにし、「3密」を避ける並び方で配る。
- ・食事は、共用スペースではなく、各個人の住居スペースでとる。その際、できるだけ会話を控えるよう周知する。
- ・発熱等有症状者や濃厚接触者への食事の受け渡しは、直接行わず、各居住スペース前などに置いて渡す方法をとる。

⑤ 生活区域の清掃・消毒

- ・居住区域、トイレの清掃・消毒の際は、マスク、眼の防護具、掃除用手袋（使い捨て手袋可）等を適切に使用する。終了後は、石鹼で手洗いをするを徹底する。
- ・自分が使用するスペースは自分で、多数の人が使用する場所（ドアノブ・手すり・スイッチ等）については当番制で清掃・消毒を行う。
- ・トイレは、1日3回（午前・午後・夕方）以上の複数回、消毒液を使用して清拭し、ドアノブや水洗トイレのレバー等は、こまめに消毒する。
- ・発熱等有症状者や濃厚接触者が使用した箇所については、担当者1名を決め消毒実施。

⑥ 入所後のケア

- ・避難者、避難所の運営に携わる者は、必ず1日3回検温をする。
 - *できるだけ持参した体温計を使用する。
- ・要配慮者については、必要に応じて福祉避難所等へ搬送
 - *要配慮者：高齢者、乳幼児、妊産婦、障がい者、外国人等
- ・テント泊による避難者については、エコノミークラス症候群および熱中症等の予防策の実施を促す。
 - *定期的なストレッチ運動、水分の補給等

(3) 在宅避難者等への支援

- ・救護所設置や食糧供給等の生活情報を広報
- ・在宅避難や車中泊による避難を行っている住民に対し、要請があれば食糧供給等の支援を実施
 - *発熱等有症状者や濃厚接触者から要請があった場合は保健所に連絡・相談

5 避難所閉鎖時

(1) 収束後の現状回復

避難所閉鎖後は、施設本来の用途で使用するため、避難所となる以前の状態に戻す。

- ・発熱等有症状者や濃厚接触者の専用スペースについては、保健所の指示に従い消毒・換気等を実施する。
- ・施設内の清掃・消毒は、避難者及び避難所開設に携わった方々で行う。

(2) 避難者情報の記録の整理

感染者が発生した場合に備え、個人情報に配慮しながら避難者の情報を管理

- ・避難所運営に用いた各種の記録、台帳を整理し、災害対策本部に引き渡す。

*災害対策本部からの問合せ等に対応できるよう、避難所運営委員会の代表者等の連絡先を明記しておく。

様式

避難者カード

※該当するものにチェックを記入してください。

避難所への入所を希望

在宅のまま避難所サービス（物資の提供）の利用を希望

記入日	年 月 日	記入者氏名	
住所	自治会・町内会名		
	自宅の被害状況		全壊・半壊・一部損壊 全焼・半焼・断水・停電・ガス停止
電話	()	(親戚) 電話番号	()
親戚等連絡先	氏名：		
	住所：		

避難所を利用する人

氏名		生年月日	年齢	性別	病気・障がい・アレルギーなど特別な配慮が必要な場合記入	運営に協力できること (特技・資格等)	安否確認への対応
世帯主	ふりがな	T / S / H / R		男・女			公開 非公開
		年 月 日					
家族	ふりがな	T / S / H / R		男・女			公開 非公開
		年 月 日					
	ふりがな	T / S / H / R		男・女			公開 非公開
		年 月 日					
	ふりがな	T / S / H / R		男・女			公開 非公開
		年 月 日					

退所後の連絡先（退所時に記入します。）

退所後の居住地	
(氏名)	
電話番号	

【避難者の方へ】

- ◎ この名簿は、入所時に世帯代表の方が記入して被災者管理班の名簿係にお渡しください。
- ・ この名簿を記入し行政担当者に提出することで、避難者として登録され、避難所での生活支援が受けられるようになります。
- ・ 内容に変更がある場合は、速やかに被災者管理班に問い合わせ、修正してください。
- ・ 他からの問合せに対し、住所と氏名を公表していいか記入してください。名簿の内容を公表することで、ご親族の方々に安否を知らせるなどの効果があります。

避難所管理者使用欄

入所日	年 月 日	退所日	年 月 日
居住区分	体育館「 」	その他 ()	

【受付時用】 健康確認チェックシート

※ひとり1枚ずつ記入し、総合受付にご提出ください。

氏名			
避難所名			
以下について、該当するものに○をつけてください。			
1	あなたは新型コロナウイルスの陽性者で自宅療養中ですか？	はい	いいえ
2	あなたは新型コロナウイルスの感染が確認されている人の濃厚接触者で、健康観察中ですか？	はい	いいえ
3	普段より熱っぽく感じますか？	はい	いいえ
4	呼吸の息苦しさ、胸の痛みはありますか？	はい	いいえ
5	においや味を感じないですか？	はい	いいえ
6	せきやたん、のどの痛みはありますか？	はい	いいえ
7	全身がだるいなどの症状はありますか？	はい	いいえ
8	吐き気がありますか？	はい	いいえ
9	下痢がありますか？	はい	いいえ
10	からだにぶつぶつ（発疹）が出ていますか？	はい	いいえ
11	目が赤く、目やにが多くないですか？	はい	いいえ
12	その他、気になることはありますか？ ※「はい」の場合記入 ()	はい	いいえ
13	あなたの平熱は何℃ですか？	()	℃)
14	現在の体温は？（総合受付で伝えられた体温を記入）	()	℃)

受付担当使用欄

該当するものに○をつけ、避難者に避難場所を伝えてください。			
		該当欄に「○」	居住区画番号
すべて「いいえ」に○がついている。			
⇒	体育館受付へお進みください。		
「1」の「はい」に○がついている。			
⇒	自宅療養者専用受付へお進みください。		
「2」の「はい」に○がついている。			
⇒	濃厚接触者専用受付へお進みください。		
「3」～「12」のいずれかの「はい」に○がついている。			
現在の体温が37.5℃以上である。			
⇒	発熱等有症状者専用受付へお進みください。		

避難者健康チェックシート

							避難所名：	
※ひとり1枚ずつ記入してください。								
※発熱した場合や、体調が優れない場合は、必ず、避難所の救護支援班にご相談ください。								
※用紙がなくなった場合は、避難所の被災者管理班からもらってください。								
氏名	居住区画番号			平熱	°C			
年 月 日 記入してください。								
日付	日()							
体温	朝： °C							
	昼： °C							
	夜： °C							
★ひとつでも該当すれば「はい」に○ ・息が荒くなった（呼吸数が多くなった。） ・急に息苦しくなった。 ・少し動くとき息が上がる。 ・胸の痛みがある。 ・横になれない・座らないと息ができない。 ・肩で息をしたり、ゼーゼーする。	はい・いいえ							
においや味を感じない	はい・いいえ							
せきやたんがひどい	はい・いいえ							
全身のだるさがある	はい・いいえ							
吐き気がある	はい・いいえ							
下痢がある	はい・いいえ							
★その他の症状がある。 ・食欲がない ・鼻水・鼻づまり・のどの痛み ・頭痛・関節痛や筋肉痛 ・一日中気分がすぐれない ・からだにぶつぶつ（発疹）が出ている。 ・目が赤く、目やにが多い など	はい・いいえ (症状)							
チェック欄								

ボランティア活動者名簿

年 月 日

	氏名	住所 電話番号	作業内容・場所	作業時間
1		住所： TEL：		： ～ ：
2		住所： TEL：		： ～ ：
3		住所： TEL：		： ～ ：
4		住所： TEL：		： ～ ：
5		住所： TEL：		： ～ ：
6		住所： TEL：		： ～ ：
7		住所： TEL：		： ～ ：
8		住所： TEL：		： ～ ：
9		住所： TEL：		： ～ ：
10		住所： TEL：		： ～ ：

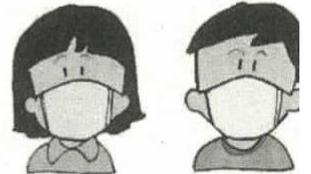
揭 示 物

感染を広げないための避難所のルール

感染症対策にご協力をお願いします。

- 避難所内ではマスクを着用しましょう。

※マスクが常時着用できない乳幼児などもありますので、配慮をお願いします。



- 避難所内は感染予防のため、土足禁止です。室内履きに履き替えましょう。
- 避難スペースに入る前には、消毒液で手指の消毒をしましょう。
- 食事の前やトイレに行った後は、石けんで手を洗い、消毒液で消毒をしましょう。
- 関係者以外は、専用区域には立ち入らないでください。
- 毎日、健康状態を自己チェックし、避難者健康チェックシートを記入しましょう。咳や発熱があるなど、少しでも体調が悪い方は運営スタッフにお知らせください。



感染拡大防止にご協力いただいている専用区域の避難者へ
の人権に配慮した行動をお願いします。

専用スペースで生活されている方へのお願い

避難所での感染拡大防止にご協力いただき、ありがとうございます。
専用スペースでの生活では、以下のことにご協力をお願いします。

- 体調が悪化した場合は、すぐに運営スタッフに申し出てください。
- 毎日、朝・昼・夕に健康状態を確認し、避難者健康チェックシートを記入してください。
- 原則専用スペース内に留まってください。万が一、専用スペースを出るときは運営スタッフに声をかけ、運営スタッフの指示に従ってください。
- トイレは、専用トイレ以外は使用しないでください。使用後は、便座などを消毒してください。
- 生活スペースの清掃は、各自行ってください。
- ごみは、専用スペース内の専用ごみ箱に分別して廃棄してください。
- 家族を含めて、来訪者と面会を行わないでください。
- 避難所を退所する場合は、運営スタッフにご相談ください。
- 避難所の利用にあたっては、運営スタッフの指示に従ってください。



感染症対策 へのご協力を お願いします

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

①手洗い

正しい手の洗い方



・爪は短く切っておきましょう
・時計や指輪は外しておきましょう

①



流水でよく手をゆらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。

②



手の平をのばすようにこすります。

③



指先・爪の隅を奥入りにこすります。

④



指の隙を洗います。

⑤



親指と手のひらをねじり洗います。

⑥



手首も忘れずに洗います。

石けんを洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

②咳エチケット

3つの咳エチケット

電車や駅、学校など人が集まるところでやる



× 何もせずに
咳やくしゃみをする



× 咳やくしゃみを
手でかさえる



マスクを着用する
(口・鼻を覆う)



ティッシュ・ハンカチで
口・鼻を覆う



袖で口・鼻を覆う

正しいマスクの着用



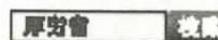
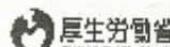
① 鼻と口の両方を
確実に覆う



② ゴムひちを
耳にかけず



③ 隙間がないよう
鼻まで覆う



感染症対策へのご協力をおねがいします

！ 手洗い

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

ドアノブや電車のつり革など様々なものに触れることにより、自分の手にもウイルスが付着している可能性があります。
外出先からの帰宅時や**調理の前後**、**食事前**などこまめに手を洗います。

正しい手の洗い方

手洗いの前に

・爪は短く切っておきましょう
・時計や指輪は外しておきましょう



1 流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。



2 手の甲をのばすようにこすります。



3 指先・爪の間を念入りにこすります。



4 指の間を洗います。

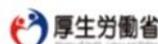


5 親指と手のひらをねじり洗いします。



6 手首も忘れずに洗います。

石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。



厚労省 検索



感染症対策へのご協力をおねがいします

咳エチケット

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

■ほかの人にうつさないために

くしゃみや咳が出るときは、飛沫にウイルスを含んでいるかもしれません。次のような咳エチケットを心がけましょう。

- ・**マスク**を着用します。
- ・ティッシュなどで**鼻と口を覆います**。
- ・とっさの時は**袖や上着の内側で覆います**。
- ・周囲の人から**なるべく離れます**。



3つの咳エチケット

電車や職場、学校など人が集まるところでやろう



マスクを着用する (口・鼻を覆う) ティッシュ・ハンカチで 口・鼻を覆う とっさの時 袖で口・鼻を覆う



何もせずに 咳やくしゃみをする 咳やくしゃみを 手でおさえる

正しいマスクの着用



1 鼻と口の両方を 確実に覆う 2 ゴムひもを 耳にかける 3 隙間がないよう 鼻まで覆う

首相官邸 Prime Minister's Office of Japan

厚生労働省 Ministry of Health, Labour and Welfare

厚労省 検索



